

2011年3月14日

「新宿の環境学習応援団」第10回“まちの先生見本市”出展報告書

NPO風土・kazetsuchi

【行事概要】

- 日時：平成23年2月5日（土）9時45分～16時00分
- 場所：新宿区立東戸山小学校
- 対象者：新宿区内の児童・生徒、新宿区内小・中・高校（公立・私立）の先生、幼稚園・保育園関係者、保護者、地域団体など地域の方々を中心に、環境学習実施に関心のある方
- 目的：児童・生徒、保護者や地域の方々はもちろん、環境啓発を推進する事業者や環境団体、行政機関など「まちの先生」と、教育現場の「学校の先生」が一堂に会し、エコライフの知恵や経験の体験交流を通して、快適なまち新宿の実現を目的とする。
- 主催：特定非営利活動法人 新宿環境活動ネット
- 運営：第10回「新宿の環境学習応援団・まちの先生見本市」実行委員会
- 共催：新宿区
- 協力：新宿区立東戸山小学校
- 後援：環境省、東京都環境局、新宿区教育委員会、新宿区小学校PTA連合会、全国小中学校環境教育研究会、東京都小中学校環境教育研究会、東京商工会議所新宿支部、若松地区町会連合会、若松地区協議会、若松地区青少年育成委員会、牛込母の会、新宿区民生児童委員協議会、新宿区エコ事業者連絡会
- 協賛：(株)伊勢丹、eタウン新宿、江戸の郷よよぎネイチャーゲームの会、(株)熊谷組、崎田オフィス、生活協同組合パルシステム東京／(株)ジーピーエス、(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、東京ガス(株)中央支店、東京電力(株)新宿支社、(株)花王、エコ窓普及促進会、(有)リボン＜エコツーリズム・ネットワーク＞、まちの先生見本市実行委員会有志
- 参加者数：1700名
- 内容：「まちの先生」47団体が、環境教育に関する体験型ワークショップやプログラム展示、技術展示、相談コーナーを開設し、教育現場の「学校の先生」に紹介した。参加した子どもたちも楽しんで環境学習に取り組んだ。また、教育委員会主催の環境学習発表会が同時開催された。

【当団体の出展概要】

- 目的：風の人（外から来た人）である当会スタッフが土の人（地元の人）である来場者に自然の恵みと親しむ機会を提供し、楽しい体験を通して身近な自然への興味を引き出すことを目指す。

■実施内容：自然素材でクラフト体験

どんぐり、松ぼっくり、落ち葉、小枝など都心でも身近に見つけられる自然素材を使った工作をおこなった。どんぐりで作ったトトロのオーナメント、押し葉を画用紙に貼ってつくったしおりやネックレスなどのサンプルを見ながら、来場者はそれぞれ自由な工作を楽しんだ。午前中は新宿で学校の先生を

している方、エコ活動に興味がある方などの大人が中心となって参加し、工作の合間に小学校の授業での悩みを聞いたり、クラフトのアイデアを話し合ったりした。午後からは多くの子どもたちが参加した。サンプルを参考にしてトトロのオーナメントを作る子どもが多かったが、他にもどんぐりに赤や青の色をつけて仮面ライダーを作ったり、真っ黒に塗ってトトロに出てくるまっくろくろすけを作ったり、それぞれに趣向を凝らした作品を作った。中には、どんぐりとどんぐりを毛糸でつなげて「家族の輪」をつくった子、どんぐりに家族ひとりひとりの名前を書いた子、押し葉のしおりに「いつもありがとう」と書いた子もいて、それぞれに「家族に見せてあげる」と大事そうに持ち帰って行った。また、大人の方もどんぐりトトロのオーナメントを「玄関に飾ります」と持ち帰っていた。参加者の反応を見て、当会のスタッフも自然素材のクラフトの魅力が改めて感じさせられた。



■目的の達成状況：どんぐり、かくと（どんぐりの帽子）
にいろいろな種類があることに気づいて驚く人、学校の近くで拾ったくるみの実を教室から持ってきて見せてくれる子どもなどがおり、楽しい体験を通して身近な自然への興味を引き出すことが達成できた。

